

マウナロア山での日食観測

榊原幸雄

ハワイ島には、マウナケア（4206m、）、マウナロア（4170m）の二つの巨大な活火山がある。マウナケア山には、山頂に天文台が建ち並び、車で登ることができることは、よく知られている。今回の日食では、両山とも入山規制がしかれ、一般の人は登ることができなかった。さて、マウナロア山に関しては、日食観測地として、ほとんど話題にならなかったと思う。我々、東京理科大学日食観測隊はコロナ観測所のあるマウナロア山に登るために、入山許可の申請を2年前から行っていた。

しかし、観測所から6名の入山許可証が、ハワイ隊の足立潔史隊長宅に届いたのは、今年の3月18日になってからだった。半分、諦めていたため、ワイコロアでの観測を考えていたが、急遽、マウナロア隊として6名の旅行計画をたてることになった。出遅れたため、飛行機、ホテル、レンタカー等の確保が大変だったが、星野奈穂子さんの努力で何とかになった。

7月9日午後、普通のレンタカー2台に分乗して、ヒロを出発し、マウナロアに向かった。サドルロードをとおり、マウナロアとマウナケアの鞍部で左折した。ここからは、月面を思わせる様な荒涼とした景色がつづいた。北側にはマウナケアがよく見える。途中休憩しながら、3時間程かけて、観測所に到着した。

我々の観測場所は、マウナロア山の中腹にあるコロナ観測所と大気観測所の敷地内（標高3400m）だった。東に小さなドームが2つ。南にコロナ観測所。北には大気観測所と鉄塔そして、雲海の上にマウナケアが見える絶好の観測ポイントだ。車の中で朝まで待機してリハーサル。一旦、ヒロに戻り10日の夕方、再び観測地まで登り、日食に備えた。

日食当日は、少し薄雲があったが日食観測は大成功だった。ただ、皆既になってもあまりにも明るかったため、ちょっと拍子抜けしてしまった。皆既中の様子は次のようだ。眼下には雲海が広がっている。上空には、絹雲、絹層雲と思われる雲があり、皆既中の空が、黄金色（悪く言えば薄茶色）に見える。もう少し青い空が見られると思っていたが、意外だった。ピナトゥボ山の噴火の影響があるのだろうか？ しかし、左右に広がったコロナと、上下の大プロミネンスはみごたえがある。第2接触及び皆既中は、本影錐は肉眼で確認できなかった（するのを忘れた？）が、第3接触前後にははっきりとみることができた。ダイヤモンドリングの前を、黒いカーテンが下がっていく様子は感動的だった。太陽が再び姿を現した後も、数分間、メキシコ方向に向かっていく月の影を雲海の上に明確にとらえることができた。

観測終了後にマウナロア・コロナ観測所のDr.ガルシアに観測所内部を見せて頂き、詳しい説明を受けることができた。